

# 令和 3 年第2回久米島町議会定例会一般質問

期日： 令和3年3月9日

令和3年3月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	翁長 学	1. 農業における研修会の計画を	令和3年3月9日(火)
		2. 農道の整備について	
2	盛本 實	1. 商工業の振興について	令和3年3月9日(火)
		2. 観光振興について	
		3. 久米島高校の存続について	
		4. 包括連携協定の活用について	
3	幸地 猛	1. 久米島町総合計画の後期計画について	令和3年3月9日(火)
		2. 観光産業の振興について	
		3. 交通の確保について	
		4. 久米島町誕生20周年について	
4	吉永 浩	1. 公共施設等総合管理計画について	令和3年3月9日(火)
		2. 令和3年度施政方針について	
5	喜久里 猛	1. 製糖開始遅れについて	令和3年3月9日(火)
		2. 兼城港ターミナルについて	
		3. シルバー人材センター設置について	

令和3年3月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	東江 浩明	1. 新型コロナウイルスの町内現状について	令和3年3月10日(水)
		2. 離島留学生受入れ対応等について	
2	富永 肇	1. 新型コロナウイルス感染症について	令和3年3月10日(水)
		2. 令和3年施政方針 観光産業の振興	
		3. 学校教育の充実	
		4. 施政方針 久米島高校魅力化	
		5. 歯科医院の再開について	
3	喜久村 等	1. 農業の振興について	令和3年3月10日(水)
		2. 街路樹について	
4	新垣 幸子	1. 保育所運営について	令和3年3月10日(水)
		2. 歯科診療所の開設について	
		3. 職員のメンタルケアや相談体制の強化について	
		4. 行財政改革推進室の課設置について	
		5. 学校教育現場の課題について	
5	棚原 哲也	1. 泊フィッシャリーナ東側に隣接する用地について	令和3年3月10日(水)
		2. 植栽について	
		3. 準天頂衛星システム久米島追跡管制局について	

令和3年3月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	真栄平 建正	1. 土壌分析、土壌改良、堆肥センターについて	令和3年3月11日(木)
		2. バーデハウスについて	
		3. 施政方針について	
2	宇江原 総清	1. 鳥島射爆撃場の早期返還を	令和3年3月11日(木)
		2. 久米島町を含む国立公園構想は	
		3. 真謝のちゅら福木の剪定を	
3	赤嶺 秀徳	1. 子供の貧困について	令和3年3月11日(木)
		2. ひとり親家庭について	
		3. キビ作農家への支援について	
		4. 横領事案について	

令和3年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
1	12翁長 学	1. 農業における研修会の計画を	近年農業において機械化が進んでいる。そこで町として機械士の研修会、畜産においては削蹄師の研修会の計画をしてほしい。	町長	農業機械士養成研修については、平成30年度に本町で開催した実績があり、16名が受講しております。離島研修を開催する場合は、県に要望書を提出し、受講希望者が10名以上いることなどの要件を満たす場合、県が次年度の開催場所を決定することとなっております。現在、研修会が開催出来よう準備を進めております。 削蹄師の研修会について、令和元年度に本町で、削蹄の実技研修会を行っております。令和3年度については、役場、JA、久米島町和牛改良組合、沖縄県農業共済組合等関係団体と調整し、実技研修会が開催できるよう取り組みたいと思います。	産業振興課
2		2. 農道の整備について	区長会、議員の一般質問の中でも農道の整備の要望がある。私は視点を変えて質問します。 農地周辺に牛舎等があり1日中農道を通るが、整備されいない農道がある。牛の運搬等、飼養管理、衛生の観点から整備できないか。 ①比屋定地内、②山城地内、③真我里地内、④銭田地内、⑤大田地内	町長	農道整備につきましては、農業基盤整備促進事業にて新規採択することとしておりますが、この事業は沖縄県内で要望する市町村が多いため、採択基準の中で、粉塵被害や荷痛み等がある未舗装農道については、優先度が高い状況にあります。牛舎への往来に支障がある場合が、事業採択の要件に合致するのかどうか確認し、計画策定を行っていきたいと考えております。	建設課
3	2盛本 實	1. 商工業の振興について	久米島商工会への支援を行い、久米島商工会との連携により、町内事業者の経営継続や経営回復に取り組んでまいりますとありますが、具体的な取り組みについて伺う。	町長	久米島商工会は商工振興の担い手として、町内事業所への巡回・窓口指導や各種講習会の開催、国や県等の融資斡旋等を実施しておりますが、それら事業者へのサービスと併せ、地場産業に即した支援が必要と考えております。 具体的な取り組みについては、「地域総合振興事業」をはじめ「久米島特産品販路開拓事業」等、久米島商工会が企画・立案した事業への支援となっております。 また連携として、国や県、町からの各支援策の周知、支援サポート等、町内事業者の経営継続や経営回復に繋げるよう取り組んでまいります。	商工観光課

令和3年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
4	2 盛本 實	2. 観光振興について	アフターコロナの新たな誘客施策としてインバウンド誘客、また教育旅行やMICE等の団体旅行の平準化・通年型観光の実現に取り組むとありますが、受け入れの為にインフラは整っているか伺う。	町長	インバウンド受け入れ体制の構築や整備については、地域おこし協力隊を活用しながら、HP等発信・案内情報の翻訳、町内事業者や観光施設の調査、外国人観光客への聞き取り等により整備や現状把握等に努めているところです。 調査結果等を踏まえ、必要なインフラ整備に努めてまいります。 教育旅行等の団体旅行の平準化・通年型観光については、観光協会と連携し取り組んでおり、引き続き実現に向け取り組んでまいります。	商工観光課
5		3. 久米島高校の存続について	沖縄県教育委員会から園芸科の廃科案が示されて将来的に高校の存続が危惧されているとの事ですが、現状はどのような状況なのか。高校の存続に向けて行政としての今後どの様に取り組んで行くのか伺う。	町長	平成24年～令和3年度までの第5期県立高等学校編成整備計画では平成30年度末までに久米島高校園芸科を廃科とする計画でありましたが、本町が園芸科の存続要請及び独自の支援・取り組みを行っているとして、廃科は未実施となっております。次期編成整備計画(案)においても本町の取り組みを注視するとしていますので久米島高校を含む関係機関と連携して引き続き島留学制度の推進及び進学率向上等、高校魅力化に取り組んでまいります。	企画財政課
6		4. 包括連携協定の活用について	本町では現在包括連携協定を結んでいる団体数は。またその締結内容と利活用状況について伺う。	町長	現在、包括的な連携協定を締結している団体数は自治体で1団体、国及び県関係機関で2団体、大学2団体、民間企業3団体の計8団体になります。 締結内容は地域間交流の促進、地域活性化等、地方創生が主な内容となっております。現在、本町が実施する各種施策について、専門的な立場から助言をいただき、それぞれの団体が蓄積した知見、ノウハウなどを町の各種事業遂行に活用しております。	企画財政課

令和3年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
7 13	幸地 猛	1. 久米島町総合計画の後期計画について	①前期の課題は、後期計画の具体的な方向性について伺う。 ②基本構想の人口目標の8500人は厳しいと考えるが、後期計画に人口減少対策の具体策について伺う。	町長	①前期の課題については、主に人口減少に歯止めがかかっていないことや本町でも子どもの貧困率が高いことが独自の調査でわかったこと、また入域観光客数が12万人という目標を達成できなかったことが挙げられます。 また、後期基本計画の具体的な方向性については計画案の段階で明確な方向性が示されていくものと考えております。 ②基本構想に掲げる人口目標については現在も人口減少に歯止めがかからず目標達成は厳しいと認識しております。 しかしながら人口目標の設定では、「合計特殊出生率の維持」、「生産年齢人口の流入促進と流出抑制」、「海洋深層水事業の拡大による人口増」を想定した目標としており、引き続き基本的指標として取り組んでまいります。	企画財政課

令和3年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
8	13 幸地 猛	2. 観光産業の振興について	<p>①観光入域者数の対前年比50%減の大幅な落ち込みは観光振興にとって大きな打撃となっている。それを打開していく具体策について伺う。</p> <p>②東北楽天イーグルスの再誘致に向けて取り組むとあるがその具体策について伺う。</p> <p>③久米島版DMO推進協議会の設立に伴う観光振興の効果について伺う。</p>	町長	<p>①コロナ禍における観光回復については、観光地として訪れる側も受け入れる側も安心できる、安全な受け入れ体制の構築が重要だと考えております。</p> <p>限られた医療体制の中、感染予防対策の徹底やウィズコロナに対応した受け入れ環境充実に努め、リピーターに戻っていただける、また、新たな旅先として選ばれる観光地回復に取り組んでまいります。</p> <p>②今季キャンプ未実施決定後も、楽天球団とは定期的に連絡を取り合いながら、情報交換を行っております。</p> <p>来季キャンプについては、今年のシーズン開幕を目途に球団と協議をスタートさせることとなっております。</p> <p>例年実施している仙台への観戦ツアーや特産品贈呈等による激励や応援も含め、島としての再誘致の熱意をしっかりとお伝えしながら取り組んでまいります。</p> <p>③久米島版DMO推進協議会は、地域経済5団体が会員となり活動をスタートさせましたが、コロナ禍の影響もあり、活動が十分とは言えない状況も見られます。</p> <p>今年度は、久米島漁協と連携した「海と食」をテーマにオンラインも活用したPRイベントの開催や、受託事業としてインバウンド向けプロモーション事業、ターゲット向けの着地型商品企画・造成のマーケティング事業等を経済5団体と連携しながら実施しております。</p> <p>島の自然・歴史・文化や食等、経済5団体と連携し産業を網羅した観光による地域経営を念頭に、観光入域や観光消費の増加を目指し取り組んでいます。</p>	商工観光課
9		3. 交通の確保について	<p>高速船について、関係機関と緊密に連携して導入を検討して行くところがあるが、その実現性について伺う。</p>	町長	<p>高速船導入については、先月、久米島商工会や久米商船(株)などで組織する高速船導入に関する検討委員会を立ち上げ、第1回検討委員会を開催しております。</p> <p>委員会では船舶の購入費用や維持管理費などについて意見交換を行っておりますが、より詳細な専門機関の調査を実施し、高速船導入の可能性について、引き続き検討してまいります。</p>	プロジェクト推進課

令和3年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
10	13幸地 猛	4. 久米島町誕生20周年について	久米島町誕生20周年の記念事業等の計画があるか伺う。	町長	令和4年度に合併20年の節目を迎えます。記念事業として記念式典、功労者表彰及び大田昌秀元沖縄県知事の顕彰事業を実施する予定です。その他のイベント等については、全庁的に記念事業の検討を行ってまいります。	総務課
11	6吉永 浩	1. 公共施設等総合管理計画について	①本計画は将来に生じる改修・更新投資額を予測し、財政的に次の世代に引き継げる公共施設の整備、改修・更新、管理運営のあり方を示すものです。計画の推進のための体制整備や公共施設等の管理に関する基本的な考え方に沿ってまちづくりを進めていると思うが、現状と課題を伺います。 ②公共施設等の管理に関する基本的な考え方である、数値目標、点検・診断、安全確保、長寿命化、民間活用、維持管理・修繕・更新等、耐震化、統合や廃止といった項目は、計画通りに進められているか伺います。 ③財務シミュレーションで示された厳しい現実。計画が7年経過しているが、改善はみられるか伺います。	町長	①公共施設の老朽化は重要な課題として認識しており、これまでに建設された多くの公共施設で建築年数が経過し、老朽化した施設が数多く存在しております。 老朽化に伴い必要となる建て替えや改修の経費は、今後、町の財政にとって大きな負担になることが予想されますので、人口減少等による今後の公共施設等の利用需要の変化など、今後の社会情勢の変化も視野に入れ、公共施設の適正配置を推進していきます。 ②公共施設等総合管理計画では公共建築物の延べ床面積を40年間で30%削減することを数値目標として掲げております。庁内推進体制として「久米島町公共施設マネジメント委員会」を組織し、公共施設等の情報を管理・集約する部署を企画財政課と定めて的確に運用しております。 具体的な個別施設の方向性については、本計画の下位計画にあたる個別施設計画に記載することになります。 ③公共・公用施設の新築、増設、改良事業などの投資的な事業費を示す普通建設事業費では、管理計画策定時の平成26年度と比べ平成30年度では626百万円減額となっており、少しずつではありますが財政状況が改善されております。 今後、施設の削減目標を達成するためには、P DCAサイクルを活用しながら、全庁的な取り組みとして計画を推進してまいります。	企画財政課

令和3年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
12	6吉永 浩	2. 令和3年度施政方針について	<p>①令和3年度から5年間の「第2次久米島町総合計画・後期基本計画」がスタートします。その重要な節目の年にどのような役場・行政の体制で臨むのか伺います。</p> <p>②令和2年度に策定した2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「久米島町ゼロカーボンシティ宣言」。今後の具体的な行動計画を伺います。</p> <p>③総合計画でも「協働によるまちづくり」を目指すとするが、令和3年度施政方針において、官民が一丸となって各施策を推進するとあります。各施策においてどのように町民を巻き込み協働の体制を作る考えか伺います。</p>	町長	<p>①第2次久米島町総合計画・前期計画の評価において、各分野の課題が浮き彫りになっています。後期計画では、総合計画を町づくりの手引書として、より強く職員に認識させるとともに、事業計画についてはPDCAサイクルを徹底して推進のための予算措置及び人員体制を整えてまいります。</p> <p>②顕在化する気候変動危機の中、世界的に重要性が増している地球温暖化対策に取り組むため、「久米島町ゼロカーボンシティ」を宣言しております。具体的な行動計画としまして、技術が確立し、コストが低下している太陽光発電設備の優先導入や、海洋温度差発電設備等の導入を推進してまいります。また、小中学校へのエネルギー教育、省エネ教室を通じ、各種エネルギー対策への取り組み・普及啓発を行ってまいります。</p> <p>③協働のまちづくりについては、住民アンケートの調査結果、職員の事業評価等を分析してニーズを把握するとともに、各施策推進のための委員会等に民間からの参画を求めて官民連携による推進体制を構築してまいります。</p>	①企画財政課 ②プロジェクト推進課 ③企画財政課
13	9喜久里 猛	1. 製糖開始遅れについて	1ヶ月弱の操業遅れはキビ農家に大きな損害を与えているが、行政として出来る事はないか。又全体的な損害額を数字で出せないか。	町長	<p>久米島製糖工場の圧搾機の不具合による農家支援策として、2月9日に久米島町、久米島さとうきび振興協議会、久米島町さとうきび生産組合の連名で沖縄県知事に対し、春植え推進の為の種苗及び苗切機の導入、刈取り作業に係る費用や株出し管理作業に使用する2連ロータリ一機の導入に加え、灌水タンク等灌水機材の導入に関する支援要請を行いました。</p> <p>現在、国の事業を活用し、農家支援出来るよう県と調整しております。</p> <p>また、今回の圧搾機の故障に伴う全体損害額については、久米島製糖にも確認しましたが、算出するのが困難であるとの回答でした。</p>	産業振興課

令和3年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
14	9喜久里 猛	2. 兼城港ターミナルについて	兼城港ターミナル工事は予定通り進んでいるか。何月供用開始か。店舗の使用方法、家賃は決まっているか。 旧ターミナルの解体工事は何月を予定しているか。	町長	工事につきましては、令和3年3月31日完了予定となっております。供用開始については、令和3年5月を目標に作業を進めており、店舗の使用方法、家賃についても「兼城港ターミナルの設置及び管理に関する条例」に規定することとしております。 旧ターミナルは、令和3年度中で解体工事を行う予定となっております。	建設課
15		3. シルバー人材センター設置について	国民年金受給者と厚生年金受給者の人数とその比率は、何対何か。生活様式の変化により久米島町も70才前後の高齢者が数多くいる。その方々は割と元気であり、充分働ける体力をもっている。その町民の生活と健康維持の為、登録制のシルバー人材センター設置も行政が果たす役割ではないでしょうか。	町長	本町における年金受給者数について、令和2年3月末現在、国民年金2,181人（64%）、厚生年金1,231人（36%）となっております。 シルバー人材センターの設置については、行政が主導して設置するのではなく、NPO法人や一般社団法人など民間事業者の参入による運営が前提であると認識しております。	福祉課
16	11東江 浩明	1. 新型コロナウイルスの町内現状について	①島内出入者の対応状況。 ②ウイルス感染者及び濃厚接触者への対応と対策状況。 ③飲食店他店舗業者等への経営支援状況	町長	①島外との往來の水際対策として、空港では沖縄県がサーモグラフィカメラによる検温および旅行者専用相談センター（TACO）の設置、港では乗船時に運航会社による検温が実施されております。 ②新型コロナウイルス感染症は第2類指定感染症となっており、その対応や措置は沖縄県知事であり、陽性者への対応、濃厚接触者の確定等の業務は、南部保健所及び指定医療機関が行うこととなっております。沖縄県からの指示若しくは陽性者から依頼等があった場合は、福祉課で対応してまいります。 ③町内事業者への経営支援は、国の持続化給付金への上乗せとなる産業応援給付金、地域商品券による地域消費の促進、観光応援クーポンによる観光消費の獲得、感染予防対策での消毒液等の現物給付、事業継続支援金等の事業を実施しております。 また、国や県が実施している支援への申請サポートを行っております。	①商工観光課 ②福祉課 ③商工観光課

令和3年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
17	11 東江 浩明	2. 離島留学生受入れ対応等について	①受入学生の基準と里親受入制度の状況。 ②じんぶん館内での生活指導内容及び運営状況。	町長	①受入学生の基準としては、親子同伴で面接を行い志望動機や通知表の書類審査、今までの生活面の状況の聞き取り、さらに親元を離れて寮生活が可能であるかなどを総合的に判断して選考しています。里親制度による受入状況については、1年生2人、2年生2人の計4人となっています。 ②生活指導、運営状況については、集団生活を通して、規則正しい生活、感染予防対策、共同生活におけるルールやマナーの必要性、また、地域行事への参加や交流等も積極的に行い、寮生活を通して思いやりの心を育み、基本的な事柄が身につくよう生活指導を行っています。また、運営状況については館長、ハウスマスター3名、事務職員1名を配置し、ハウスマスターは交代制で宿直を行い26人の寮生活をサポートしています。さらに、身元引受人（島親）の協力を頂きながら寮以外の活動についても支援を行っております。	企画財政課

令和3年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
18	3富永 肇	1. 新型コロナウイルス感染症について	<p>国内で新型コロナウイルス感染症が確認されて一年が経過しました。第3波による感染、拡大は第1波、第2波以上の感染拡大となり、生活、経済、全てにおいて甚大な損失を受けています。</p> <p>本町も早い段階から緊急経済対策チームを立ち上げ、支援策を打ち出し対応、対策に取り組んだが、対策チームとして支援策の検証結果を行われているか。また、どのように捉えているか、各分野で伺います。</p> <p>①町経済（支給率、達成率）                  ②医療体制（コロナ感染者対応など）                  ③学校生活、教育（健康、授業の進行状況）                  ④検証結果の情報発信は</p>	町長 教育長	<p>①商工・観光業を中心に実施した経済対策事業の実績としましては、産業応援給付金が給付件数551件、給付額60,700千円（令和3年2月25日時点）、地域消費促進商品券事業が支給率98.2%、使用率99.1%、観光応援クーポン券事業が利用者約674名、換金額3,365千円となっております。</p> <p>②医療体制については、公立久米島病院において発熱外来を設置し、抗原検査及びPCR検査を行っています。また、新型コロナウイルス感染症対応病床5床を確保し対応することとなっております。</p> <p>③町立幼小中学校においては、文科省から出された『学校の新しい生活様式』を踏まえて、地域の感染レベルに応じた感染症対策を適切に行いながら教育活動を行っています。</p> <p>その活動を支える支援として、休校措置によって減少した授業時数を確保するため各種行事等の見直しや教育課程再編への助言や効率的な授業実施を補うデジタル教科書の配備及び『学校の新しい生活様式』を実践する中で必要な消毒、飛沫感染防止対策等の資機材の配備等を行いました。</p> <p>④各種対策等の検証について、第2波の時点における町単独事業による効果、課題等について概要的な検証、総括を行いました。しかしながらコロナ禍による経済等各分野の影響については、国全体の対策の成果としてGDP、失業率等への影響など、検証が進められているほか、金融機関独自の経済等調査も今後、実施されると思いますので検証結果を待つて町民への情報発信、提供を行ってまいります。</p>	<p>①商工観光課 産業振興課 企画財政課 ②福祉課 ③教育課 ④企画財政課</p>

令和3年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
19	3富永 肇	2. 令和3年施政方針 観光産業の振興	①スポーツコンベンションの推進、誘致活動を具体的に、どう取り組むのか。 ②地域おこし協力隊を活用したインバウンド体制の構築とあるが、これまでのインバウンド対策の取り組みと今後の体制構築と事業計画を伺う。	町長	①スポーツコンベンションの推進については、コロナ禍以前に実施されていたスポーツキャンプや合宿、大会やイベント等の再開あるいは再誘致を優先し取り組んでまいります。 ②令和元年11月から、インバウンド受け入れ体制構築を目的に地域おこし協力隊を活用し取り組んでおります。 これまでの活動として、外国人観光客へのインタビュー、宿泊施設等への調査、町HP等発信・案内情報の翻訳、町内通訳人材調査等を行っております。 今後、各調査結果等をもとに必要な整備を行うとともに、観光事業者や町民向けのインバウンド対応に必要な英会話講座開催等、ハード・ソフト両面において、インバウンド受け入れ体制の構築に取り組んでまいります。	商工観光課
20		3. 学校教育の充実	G I G Aスクール構想の現在の進捗状況と開始期日を伺う。	教育長	現在、構想策定及び環境整備に取り組んでおり、構想策定については外部委託を行い次年度にかけて策定を進めてまいります。環境整備については、本年度、ネットワーク環境整備を行い、3月の中旬に完了を予定しております。1人1台端末整備については、今年度予算措置を行いました。全国的な需要拡大に伴い納品が困難なことから次年度に繰り越し整備を行う予定となっております。各学校で整備された端末が利用できるのは、9月頃の見込です。	教育課

令和3年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
21	3富永 肇	4. 施政方針 久米島高校魅力化	<p>高校魅力化事業の推進により、久米島高校の生徒数は近年、横ばい状態を保っている。島外の離島留学生の受け入れや町営寮、町営塾の環境もあり入寮定員を超える応募があり、魅力化事業の成果を上げていると評価します。</p> <p>島内中学生が久米島高校に魅力を感じるような具体的な事業は行っているか伺う。</p>	町長	<p>中高一貫連携事業の取り組みとして久米島高校担当教諭と在校生が、久米島西中と球美中で直接学校の紹介や魅力ある取り組みなど説明会を実施しています。また、その中で町教育委員会が奨学金制度や前村基金制度など久米島高校へ進学した場合のメリットや魅力化事業について資料を基に説明を行っています。さらに、進学を控えた中学3年生向けにオープンスクールを実施しており、授業や部活動見学など久米島高校の雰囲気を経験することができます。部活動では中学生との合同練習や試合などを実施して交流・連携を深めています。</p> <p>総合学習の取り組みでは、まちづくりプロジェクト発表会を実施しており、久米島の環境、観光、福祉、交通、人口減少など様々な課題、テーマについて、調べ学習を行い、解決策を提案する授業を実施しています。本年度のまちづくりプロジェクトでは本町の特産品のパッケージづくりに取り組んだ チームを県外の探究学習勉強会に派遣しました。今年度はコロナ過の影響でオンラインでの参加になりましたが、生徒の学習意欲を高めることにつながっています。</p>	企画財政課
22		5. 歯科医院の再開について	<p>現在、島内には具志川歯科一か所となり、予約が取りづらい状況である。また本島へ通院せざるを得なくなり島民も精神的、経済的な不安がある。歯科検診等にも支障をきたしている。</p> <p>再開に向けてのスケジュールはあるか伺う。</p>	町長	<p>仲里歯科診療所の再開に向けて取り組んできたところ、協力を申し出ていただいた医師が数名おります。現在は、運営についての意見交換や詳細を調整している段階であり、再開時期やスケジュールについてはお示しできる段階ではありません。</p> <p>町内にあります歯科医院に患者が集中し、予約が取り難い状況により沖縄本島へ通院せざるを得ない方々が多くいることは承知しております。皆様には、大変な負担を生じさせているところではありますが、早急に歯科医療体制を整えるべく取り組んでいるところでありますので、今しばらくお待ちいただきますよう協力をお願い致します。</p> <p>なお、歯科健診については、小児保健協会及び南部地区歯科医師会の協力により実施できておりますので、次年度も引き続き支障がでないよう取り組んでまいります。</p>	福祉課

令和3年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
23	1 喜久村 等	1. 農業の振興について	①さとうきび畑の土づくりで本町では、土壌診断実施しているか。その後の土壌改良対策の取組について伺う。 ②農作業の機械化の推進について、どんな農機具が導入できるか伺う。 ③堆肥の補助について、種類と方法は。	町長	①さとうきび畑の土壌分析を毎年実施しております。土壌改良対策として、県の農業改良普及員や久米島製糖、JA久米島支店と農家へ土づくり講習会を実施しております。また、農家が購入する土壌改良材の購入額1/2補助もおこなっております。 ②本町においては農家の農作業の軽減を図るため農業機械等導入リース事業として、トラクター・耕うんロータリー・中耕ロータリー・全茎プランター・ブームスプレーヤー等の導入ができます。 ③袋詰め堆肥（15kg）は50袋以上購入に対し1袋100円の補助。バラ堆肥1トンに対し、2,600円の補助。 申請方法については、役場または、JA購買窓口にある申請書と堆肥購入の領収書を添付して申請する方法です。	産業振興課
24		2. 街路樹について	県道、町道の街路樹の剪定と撤去の対応と対策は。	町長	県道の維持管理につきましては、沖縄県より本町が受託し業務を行っております。街路樹の剪定及び撤去につきましても、県と協議しながら対応しております。 町道につきましては、関係課が連携して作業にあたっております。	建設課

令和3年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
25	6新垣 幸子	1. 保育所運営について	<p>①令和4年4月1日開園予定の認定こども園について、法人保育園と調整や意見交換を行ったか。また、保護者へ十分な説明を行ったか。</p> <p>②認定こども園整備計画の進捗状況は。</p> <p>③県の幼児教育アドバイザーによる第2回の巡回支援訪問が実施されたが改善点と対応は。</p> <p>④文部科学省の補助事業である「幼児教育推進体制の充実・活用強化事業」の活用は。</p>	町長	<p>①「久米島町子ども子育て会議」の中で町内保育所長（園長）と意見交換を行っており、会議以外にも必要に応じて意見を聴取しております。保護者への説明につきましては、現在のところ行っておりません。</p> <p>②「久米島町幼保連携型認定こども園整備計画」については、当初令和4年4月1日開園を予定しておりましたが、供用開始の時期、現場職員の研修等及び整備に要する財源の確保について改めて議論及び検討を行っているところです。</p> <p>③2回目の巡回支援訪問では、主に1回目の指導で指摘のありました項目についての確認を行い、アドバイザーからは十分改善されている見解を頂きました。2回目の巡回支援訪問では時間の都合により全クラスの内容確認ができませんでしたので、引き続き次回の訪問で実施していく予定です。</p> <p>④本事業については、今年度より県の取組が始まっており、町内保育経験者の活用、幼児教育アドバイザーの選定や育成等も含めて、次年度以降、県からの助言をもらいながら検討していきたいと考えております。</p>	福祉課

令和3年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
26	6新垣 幸子	2. 歯科診療所の開設について	<p>約1年が経過していますが、町民の多くの方々が経済的かつ身体的にも限界に至っています。前回、「最重要課題と認識している。」との答弁がありました。スピード感をもって対応してほしい。</p> <p>①1月16日に本島首里在住の歯科医師が現場視察を行ったようですが、どのような状況だったか。</p> <p>②今後の本町の歯科医療体制の在り方や具体的な対応策について伺う。</p>	町長	<p>①去る1月16日に協力を申し出ていただいた歯科医師と仲里歯科診療所の現場視察を行いました。現在は、建物や設備の改修及び運営面等についての詳細を調整している段階であります。</p> <p>②本町の歯科医療体制については3つのパターンが考えられます。</p> <p>1つ目は、一般的に本町の人口規模であれば、民間が複数参入しても十分に採算がとれるというの見立てでありますので、歯科医師個人が自己投資して開設するというのが一番だと考えておりますが、これまでの経緯をみますと厳しいところであります。</p> <p>2つ目は、仲里歯科診療所、具志川歯科医院どちらの建物も建築から約40年が経過し老朽化しておりますので、これらを更新し、これまでどおり公設民営方式として2機関体制を維持する方法。この方法は多額の財政出動や歯科医師の確保、更に経営していただく歯科医師に大きな負担があることなどの課題があります。</p> <p>3つ目は、これまでの2機関体制を1機関体制として新規に整備し、複数の歯科医師で対応する方法。そして、その業務を沖縄県離島医療組合に担っていただく方法。この方法は沖縄県離島医療組合の構成団体であります沖縄県や公立久米島病院を運営します地域医療振興協会と協議や調整が必要となります。</p> <p>本町にとってより良い方法を模索しながら、関係機関と意見交換を進めて参りたいと考えております。</p>	福祉課
27		3. 職員のメンタルケアや相談体制の強化について	<p>職員の働きやすい環境づくりやコミュニケーションのある雰囲気づくりが重要である。</p> <p>①担当課と各課の連絡体制を伺う。</p> <p>②人事異動による引き継ぎ体制を伺う。</p> <p>③産業カウンセラーの配置を要望したい。</p>	町長	<p>①心身に異常をきたしている職員の情報については、担当課と総務課で情報共有すると共に、気軽に相談できる環境づくりや研修会を行っております。</p> <p>②人事異動においては、本人の体調を考慮し配置しており、引継ぎの際には情報共有する体制を整えてまいります。</p> <p>③産業カウンセラーの配置については、活用方法や効果について調査し、配置について検討してまいります。</p>	総務課

令和3年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
28	6新垣 幸子	4. 行財政改革推進室の課設置について	町総合計画の推進や、行革大綱及び行動プランに基づく事務事業評価による更なる財政指標の改善のために、是非必要であるが、見解を伺う。	町長	行財政改革の原点は社会情勢等変化への対応、簡素化・効率化による住民負担の軽減等を目的に始めました。そのためには職員負担を軽減して企画立案に専念できるようデジタル化推進等、業務改革が必要であり、アフターコロナ、ウィズコロナも見据えた改革を推進するため、企画財政課内に行政改革班の設置を検討しております。	企画財政課
29		5. 学校教育現場の課題について	児童生徒の安心・安全な学習環境づくりが最重要課題であります。1つ1つ着実に実施することを強く要望致します。 ①中学校の特別支援教室の環境整備状況と対応は。 ②児童生徒のスマホ依存の現状と対応策は。 ③G I G Aスクール構想の進捗状況は。 ④教員宿舎の現状と修繕状況は。	教育長	①特別支援教室の環境整備については、学校からの要望を受け、施設整備・備品整備を行っています。また、児童生徒の支援の状況に応じて支援員の配置を行っています。 ②各学校からの聞き取りや養護教諭研究会の調査によると、小中学生のスマホ等の所持率は、小学校高学年で約5割、中学校で約7割、また、使用時間については、小学生で1時間未満の児童が約4割、中学生校では1～2時間が約4割となっています。スマホ等は使い方やルールを誤ると様々なトラブル等に巻き込まれたり、学校生活や友人関係に支障を来すことが予想されるため、対応策として、各学校において出前講座等を活用しスマホ等の望ましい使い方について学ぶ機会を設けております。また、長期休暇に入る前には生徒指導の一つとしてスマホ等の使い方についても指導を行うと同時に各家庭へのチラシの配布等を行っています。 ③現在、構想策定及び環境整備に取り組んでおり、構想策定については外部委託を行い次年度にかけて策定を進めてまいります。環境整備については、本年度、ネットワーク環境整備を行い、3月の中旬に完了を予定しております。1人1台端末整備については、今年度予算措置を行いました。全国的な需要拡大に伴い納品が困難なことから次年度に繰り越し整備を行う予定となっております。各学校で整備された端末が利用できるのは、9月頃の見込です。 ④教職員住宅は全69戸あり満室の状況で、更に民間アパートを5戸借り上げております。修繕状況については、入居者からの修繕要望書をもとに適宜対応いたしております。	教育課

令和3年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
30	8 棚原 哲也	1. 泊フィッシャリーナ東側に隣接する用地について	①用地の所有者は ②既存用地、今後の活用計画は？	町長	①沖縄県の所有となっております。 ②県に確認したところ用地につきましては、仲里漁港泊地区漁港環境施設用地となっており、計画は特に策定していないとの回答でした。	建設課
31		2. 植栽について	①町道比嘉3号線、儀間ダム管理所付近から久米島斎場までの間にクメノサクラ等の並木を整備できないか。 ②登武那覇公園のほうにもサクラの植栽をし、海を眺めながらサクラを楽しめるようにできないか。町民の憩いの場になるとともに、観光誘致にも生かすことができるのでは？	町長	①町道比嘉3号線の儀間ダム管理事務所から久米島斎場間は、沿線路上にカンヒザクラが数十本植生しておりますが、新たに植栽が可能かどうか調査し検討してまいります。 ②登武那覇公園に令和3年1月に宝くじ桜寄贈事業を活用し、クメノサクラを40本植栽しました。 令和3年度においても久米島固有の花木を各公園等に植栽し、町民の憩いの場と観光資源として活用できるよう取り組んでまいります。	①建設課 ②環境保全課
32		3. 準天頂衛星システム久米島追跡管制局について	旧トゥクジム青少年旅行村敷地に平成29年に完成運用されている施設について、運営会社と協議し学校教育に活用できないか。	町長	準天頂衛星システム久米島追跡管制局の施設見学については、セキュリティの関係で行うことはできませんが、人工衛星についての課外授業や講演を行うことは可能です。今後、各学校に情報提供を行い、運営会社と調整を図ってまいります。	プロジェクト推進課

令和3年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
33	10 真栄平 建正	1. 土壌分析、土壌改良、堆肥センターについて	<p>①サトウキビ反収の年度ごとの推移、どのようなことが原因で反収減となっているか伺います。</p> <p>②土壌診断による久米島の土壌（島尻マージ、国頭マージ、沖積土壌、ジャーガル）の特徴とサトウキビの適正土壌に改良する実施事例を伺います。</p> <p>③12月議会回答で土壌診断分析結果活用をJA、南部農業普及所と連携して取り組むとあったが方針、具体的な取組について伺います。</p> <p>④堆肥センターの温度管理を開始してからの発酵サイクル毎の最高温度、水分量の計測値について伺います。（資料提供も）</p> <p>⑤島外での堆肥販売の取組状況と今後のスケジュールについて伺います。</p>	町長	<p>①過去5年間の反収はH27年は4.8t、28年は6.0t、29年は5.6t、30年は5.9t、令和元年は5.0tとなっております。</p> <p>反収については毎年変動はありますが、反収減となった主な要因として、台風等の自然災害や、除草対策、灌水対策、土づくりや株の適宜更新等が行われていないことがあげられます。</p> <p>②平成26年度に町内のさとうきび農家の圃場60箇所を対象に土壌診断を実施しており、その結果によると、国頭マージの圃場では全体的にPH値が低い圃場が多くみられ、島尻マージ、沖積土壌の圃場ではリン酸、カリが低い圃場が多くみられました。また、PH値が低い土壌ではイシグーで酸度矯正すればサトウキビの反収が向上する事例もあります。</p> <p>③土壌改良対策として、PH値の低い国頭マージの圃場などでは、サンドカルや炭酸カルシウムなどのカルシウム資材による酸度矯正や堆肥を投入するなどの指導を行っております。</p> <p>④最高温度で12月24日に88℃を計測しております。水分量は65%～80.6%で仕込まれております。</p> <p>⑤堆肥販売の取組みについては、現在、うるま市のホームセンタータバタで袋詰め堆肥を置いてもらい、久米島堆肥の需要調査を行っております。また、泊港を利用する周辺離島村の需要調査も進めております。</p>	産業振興課

令和3年3月定例会一般質問回答書

議席 番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
34	10 眞栄平 建 正	2. バーデハウスに ついて	①今後の運営方法の概要を伺います。 ②進捗状況、今後のスケジュールについて伺いま す。 ③企画提案書の審査項目、審査委員の過半数は専門 家等外部委員とすべきと考えるが町長の方針を伺い ます。	町長	①バーデハウスの再開については、民間提案制 度を活用した民間企業による運営に向け取り組 んでおります。 民間提案制度は、民間事業者からの提案を求 め、住民サービスの向上、行政課題の解決及び 公共施設マネジメントに貢献する提案を採択 し、採用された提案者と協議を経て事業化を図 るもので、事業化が決定した提案者と町が契約 し、施設の運営を担わせるものです。 ②現在、民間提案制度の公募に向け要項作成等 に取り組んでおり、3月下旬もしくは4月上旬 での公募を予定しております。 ③提案書の審査については、運営力、財産力な ど、専門的な知見が必要であることから民間等 出身の外部審査委員を積極的に招へいしたいと 考えております。委員会の構成メンバーについ ては、経済団体と調整を図りながら適宜検討し てまいります。	①、②商工 観光課 ③企画財政 課

令和3年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
35	10 眞栄平 建正	3. 施政方針について	<p>①基本方針に感染症対策と併せて雇用と経済活動維持に取り組むとあるが具体策を伺います。</p> <p>②行政サービスのデジタル化の推進の具体策を伺います。</p> <p>③久米島町ゼロカーボンシティ宣言に伴う実施工程と久米島の消費電力の海洋深層水による温度差発電の占める割合を伺います。</p> <p>④総合計画策定に伴い国土利用計画の変更はどのように検討しているかを伺います。</p> <p>⑤農林水産業の活性化において、関係機関と連携してとは具体的にどのようなことか。令和2年度の関係機関との協議会等の開催状況を伺います。</p>	町長	<p>①現在、国において感染症対策のためのワクチンの接種を始めたところであり、本町においても接種に向けた準備を進めています。併せて経済・雇用等維持のため事業継続支援給付金を町事業として実施しております。</p> <p>②国としては、マイナンバーカードを活用した行政手続きのオンライン化等に取り組むとしております。町としましては、国の取り組みを踏まえ、行政サービスのデジタル化に取り組んでまいります。</p> <p>③顕在化する気候変動危機の中、世界的に重要性が増している地球温暖化対策に取り組むため、「久米島町ゼロカーボンシティ」を宣言しております。実施行程としまして、技術が確立し、コストが低下している太陽光発電設備の優先導入や、海洋温度差発電設備等の導入を推進してまいります。また、小中学校へのエネルギー教育、省エネ教室を通じ、各種エネルギー対策への取り組み・普及啓発を行ってまいります。仮に海洋深層水を10万t取水した場合の海洋温度差発電設備の電力出力は1,000kWとなり、本町の消費電力の約17%程度となります。</p> <p>④総合計画はまちづくりの最上位計画であり、市町村国土利用計画は町の土地利用に関する最上位計画となります。両計画とも重要な計画でありますので、整合性を図った内容の変更に取り組んでいきます。</p> <p>⑤事業導入やイベント開催等お互いに連絡を取り合い協力し、農林水産業の振興の為の連携となります。協議会の開催状況は、さとうきび振興協議会及び甘しょ産地協議会以外は、新型コロナウイルス感染防止のため開催しておりません。</p>	<p>①企画財政課</p> <p>②総務課</p> <p>③プロジェクト推進課</p> <p>④企画財政課</p> <p>⑤産業振興課</p>

令和3年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
36	5字江原 総清	1. 鳥島射爆撃場の早期返還を	<p>2021年1月30日の沖縄タイムス紙に「ミサイルの長城に」鳥々の要塞化低い関心住民に危機感、とある。与那国、石垣、宮古、沖縄、奄美、馬毛島。とある。南西諸島の要塞化が進む鳥々の名称に久米島が抜け落ちている。いずれか「ミサイルの長城」に久米島が入ってくるだろう。私は体感としてとらえている。町長は劣化ウラン弾毒性を軽く見ているようだが、鳥島射爆撃場に1995年12月と翌年1月に打ち込まれた弾の大部分のウラン238の半減期が約45億年という。地球誕生といっしょだ。</p> <p>久米島町が「ミサイルの長城」に組み入れられ、日本に唯一の米軍実射演習場であり、加えて40万発の劣化ウラン弾が嘉手納弾薬庫に貯蔵されていると言う現実を見ると久米島の将来が危惧される。町長に伺う。</p> <p>①鳥島射爆撃場の早期返還の意志はあるか。                  ②あるとすれば返還の手法は。                  ③ミサイル建設への見方。                  ④放射性物質の存在と除去は。</p>	町長	<p>①②鳥島射爆撃場及び久米島射爆撃場の早期返還については、沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会（軍転協）を通して毎年継続して要請を行っております。</p> <p>③仮にミサイル等の配備が計画された場合には、さらなる負担の増加につながり、町民の理解も得られないと考えることから、配備については断固反対します。</p> <p>④これまでの調査結果や町民の健康診断の結果並びに町民の死因の分析結果などを総合的に検討すると放射性物質の影響は無いものと考えておりますが、放射線測定を継続して行うなど監視を行ってまいります。</p>	総務課
37		2. 久米島町を含む国立公園構想は	<p>国立公園は国から直接予算が交付される。国立公園は県を通すとの事だと聞いている。国立公園は広さ規模が違うが、町や渡名喜、粟国を含めると可能になると環境省の方から聞いている。町長に伺う。</p> <p>町長は「自然公園法に基づく指定について可能性調査が実施できるよう要請していく」と議会答弁しているが、いつ、いかなる方法で行動していくのか。</p>	町長	<p>国立公園については、自然公園法第5条第1項に基づき環境大臣が指定します。国の指定要領で「候補地としては、原則一つの景観区から構成されるものとするが、二つ以上の景観区が隣接し、かつ、利用上緊密な一連の関係が存在するとともに、両者の景観の傑出性、規模等に係る評価が近似する場合においては、二つ以上の景観区をあわせて、一つの候補地とすることができる。」とのことから環境省と意見交換を行い、その状況を見極めた上で、検討いたします。</p>	環境保全課
38		3. 真謝のちゅら福木の剪定を	<p>現在の「ちゅら福木」は、上部の剪定していないため、見苦しい。また冬になると葉っぱが大量に落ち、夏になると種も大量におち銀蠅がたかり、観光客にいや気を与える。適切な剪定をしてほしい。</p>	教育長	<p>県指定天然記念物「真謝のチュラ福木」は、樹木医の診断のもと、定期的な樹勢回復の手当を実施しております。令和元年の1月に剪定を行っておりますが、樹木医が樹勢の状態を考慮して側面のみ剪定となっております。落ち葉や実の片付けについては、時季に応じて見廻りを強化し対応したいと考えています。</p>	博物館

令和3年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
39	4赤嶺 秀徳	1. 子供の貧困について	<p>私は、これまでの定例会に於いても質問しました。玉城県知事が、県庁での年頭あいさつで、子どもの貧困対策を県政の最重要政策と位置付け、新型コロナウイルスの影響により重要性が一層増しているとあいさつしています。</p> <p>4点について伺う。</p> <p>(1)本町における実態把握は行われているか。</p> <p>(2)子どもの貧困対策について伺う。</p> <p>(3)今後の取組みについて伺う。</p> <p>(4)コロナ禍における支援等は適切に行われているか伺う。</p>	町長	<p>(1)本町における実態の把握としまして、貧困率については、国が示す所得122万円以下の世帯を貧困層としますと、27.4%、沖縄県の25.0%を2.4ポイント上回っています。世帯構成については、母子・父子家庭の割合が22.4%で沖縄県の18.5%を3.9ポイント上回っている結果となっております。</p> <p>(2)貧困対策としては、国の制度として要保護及び準要保護児童生徒就学支援事業を実施しています。先述のとおり、母子・父子家庭の割合が県平均より上回っていることから、母子・父子寡婦貸付金制度、ひとり親家庭の医療費助成、児童扶養手当対象世帯の把握に努め、給付を実施しております。</p> <p>(3)今後の取組については、次年度において子ども医療費助成を現行の未就学児から15歳まで引き上げ、子育て世代の負担を軽減し子育てしやすい環境づくりに努めてまいります。</p> <p>(4)コロナ禍における貧困対策と直結している支援としましては、令和2年6月から11月までの6ヶ月間で給食費の無償化、保育園の保育料及び給食費の助成を実施しており、子育て世代の家計への支援に繋がっており、適切に行われたと認識しております。</p>	福祉課

令和3年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
40	4赤嶺 秀徳	2. ひとり親家庭について	本町におけるひとり親世帯の実態について伺う。 (1)実態把握は行われているか。 (2)コロナ禍における支援策等は適切に行われているか伺う。 (3)今後の取組みについて伺う。	町長	(1)実態の把握については、新規に児童扶養手当の申請が必要な場合は、転入や離婚、死別などの理由において手続きを行う際に、関係窓口から福祉課へ案内する方法で連携しながら把握しております。継続の場合は、年に一度現況届の提出を依頼し、生活状況や所得状況を確認しております。 (2)コロナ禍における支援対策については、児童扶養手当を受給しているひとり親世帯を対象に、「ひとり親世帯臨時特別給付金」の支給を行っており、1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円を加算し支給しております。また、追加給付として、収入が減少した方に1世帯5万円の支援対策が行われており、適切に実施しております。 (3)引き続き母子父子家庭等の支援に併せ、沖縄県が実施している「養育者世帯子育て相談支援体制強化事業」での養育者世帯の実態把握調査を踏まえ、養育世帯の生活状況や困り感を詳細に把握しながら必要な支援につなげていく対応策を検討していく予定です。	福祉課
41		3. キビ作農家への支援について	久米島製糖の圧搾機故障は長期間の作業停止となり、農家の春植え等、作業行程にも少なからず影響を及ぼしている。これらに対する支援策も必要と思われるが町長の見解を伺う。	町長	久米島製糖工場の圧搾機の不具合による農家支援策として、2月9日に久米島町、久米島さとうきび振興協議会、久米島町さとうきび生産組合の連名で沖縄県知事に対し、春植え推進の為の種苗及び苗切機の導入、刈取り作業に係る費用や株出し管理作業に使用する2連ロータリー機の導入に加え、灌水タンク等灌水機材の導入に関する支援要請を行いました。 現在、国の事業を活用し、農家支援できるよう県と調整しております。	産業振興課
42		4. 横領事案について	その後の事案の経過について伺う。	町長	横領事案については、317万円の弁済があり、損害賠償残額は4,104万円となっております。令和2年度以降の進展はありません。 今後は、元職員の出所後に給与等の差押えを行い損害金を回収する予定であります。	総務課